


一般質問通告書

次のとおり、質問したいので通告します。

令和3年11月10日

山北町議会議長 児玉 洋一 殿

受付番号	第3号	質問議員	10番	遠藤 和秀	
件名	人口減少の歯止め対策を				
要 旨					
<p>山北町の総人口は、昭和30年(1955年)の16,689人をピークに減少が続いている。「人口問題研究所」の推計によると、今後人口減少が進み令和27年(2045年)には4,813人になるものと言われている。</p> <p>国が昨年実施した「第21回国勢調査」で山北町の人口減少率は県内で最も高く、一方、開成町は増加率が県内最大でトップの伸び率だった。開成町では「計画的な基盤整備」「子育て支援」「ブランディング」の3事業が増加の要因と見ている。</p> <p>また、当町の人口は、昨年1万人を割っている状況となっている。</p> <p>そのような中で、人口減少対策は全国的な課題であり、この課題の解決に向けては単発的ではなく、当町の特性を生かし数々の施策をからませ連携をもたせて事業を推進していくことが、人口減少の歯止め対策に繋がっていくと思ひ質問する。</p>					
<p>1 山北町の魅力は自然環境の良さと言われている。豊かな自然環境を活かした住宅として考えると、ヒルズタウン丸山は当町にとっての好事例と言えるのではないか。このことを基に今後の具体的な人口減少対策としての取り組みの考えはどうか。</p>					
<p>2 「買物などの日常生活」に不便な、三保地区・清水地区に現在デマンドタクシーの試行運転が実施されている。初めて乗った利用者に伺ったところ、非常に便利で良かったと聞いた。試行の利用者数だけで方向性を出さず、今後高齢化により免許証の返納者が増えると思われ、町はその実情を把握する必要があると考えるがいかがか。</p>					
<p>3 岸地区の大型商業施設に買い物に行った時に買い物が終わっても、町内循環バスの本数が少なくバス停で待つ時間が長く不便と聞いた。増便する考えはないか。</p>					

- 4 東山北1000計画は人口減少対策として重要な対策である。東山北1000計画のこれまでの成果と今後の具体的なスケジュールは。
- 5 水上住宅の建設計画は具体化しているが、周辺計画のビジョンが近隣の地権者に示されていない。早めに説明・協力要請を行うべきでは。

以上